自然が未来

EXISLAND

取扱説明書

Eラインスタイル　LSタイプ

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の ⃠ 禁止 、 ⚠ 注意　の表示箇所は特に重要です。必ず読んでお守りください。
守られない場合、思わぬ事故につながり、ケガをする恐れがあります。

⃠ 禁止

◆本製品は隣地との境界を示す目的に使用するものです。転倒防止を目的とした防護柵、歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。

◆事故や故障の原因となりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。

◆ケガや事故の原因となりますので、製品を破損・故障・変形したままで、使用しないでください。

◆破損や事故の原因となりますので、重いものを乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がらないでください。

◆破損や故障の原因となりますので、強い衝撃を与えないでください。

◆変形や火災の原因となりますので、火気を近付けなでください。

◆変形や変色の原因となりますので、アルコール以外の有機溶剤や石油類を付着しないようにしてください。

自然が未来
EXISLAND

Eラインスタイル　LSタイプ

取付説明書

☆ 縦格子フェンスに『セミユニット（半完成ユニット）フェンス』として新たな3タイプが加わりました。
素材は数多くの特長を持ち、一般住宅でも広く使われております。

- このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたやほかの人々の危害や損害を未然に防止するものです。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠ 警告	●取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠ 注意	●取扱を誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容または物的損害のおそれがある内容を示しています。

＜施工の前に＞

⚠ 警告

- 本製品は、隣地との境界を目的に設置するものです。転倒防止を目的とした防護柵,歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。

⚠ 注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注意

- ●できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が伸縮するおそれがあります。
- ●強い衝撃を与えないでください。変形やキズ付きの原因となります。
- ●本製品の化学的性質は弱酸性・アルカリ・塩類等には優れた抵抗性を持っています。アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵されやすいので、触れると変色する原因となります。
- ●火気があたり続けますと軟化や融解をします。火気は近付けないでください。
- ●製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- ●本製品の取付については、取付説明書を必ずご確認ください。
- ●柱のピッチは１０００mm以下で施工してください。
- ●横桟の柱からの張出しは２００mm以下で施工してください。
- ●ブロック上に設置の場合、ブロックの穴と合わない場合があります。別途ブロックに穴を開けるか、穴が合うブロックをご使用ください。

E049-2004-6

■梱包明細

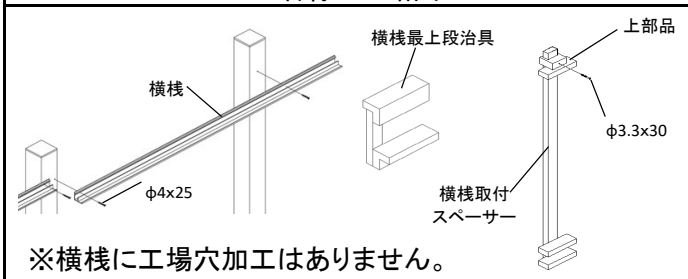
⚠ 注意

●開梱時に部品の種類・数量をご確認ください。
●商品に異常がないことをご確認ください。

1 柱

名称 ・ 略図	呼称	角寸法	長さL	GL～H	埋込深さ	横桟段数	数量
		(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(段)	(本)
キャップ付	T-6用	35x35x2t	735	565	170	2	必要数
	T-8用	35x35x2t	880	710	170	2	
	T-10用	35x35x2t	1,105	935	170	3	
	T-12用	35x35x2t	1,305	1,135	170	3	
	T-14用	50x50x1.5t	1,610	1,310	300	3	
	T-16用	50x50x1.5t	1,940	1,540	400	4	
※柱に工場穴加工はありません。	T-18用	60x60x2t	2,110	1,710	400	4	
	T-20用	60x60x2t	2,415	1,915	500	4	

2 横桟

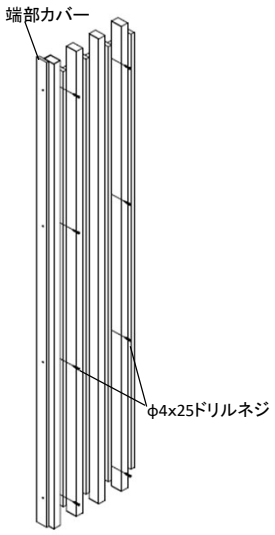
名称 ・ 略図	名称	仕様・必要数
	横桟(L2000)	W偶数m数/2 x **横桟段数**
	横桟(L1000)	(Wm数－W偶数m数) x **横桟段数**
	横桟取付ネジ φ4x25ドリルネジ	横桟(L2000)本数x4本 横桟(L1000)本数x2本
	横桟最上段治具	2個/1施工現場当り
	横桟取付けスペーサー 上部品 φ3.3x30ｽﾘﾑﾋﾞｽ	2セット/1施工現場当り
※横桟に工場穴加工はありません。	取付・取扱説明書	1

3 縦小桟 ※工場出荷時にW400程度にユニット化されたパネルを、以後『**セミユニットパネル**』とします。

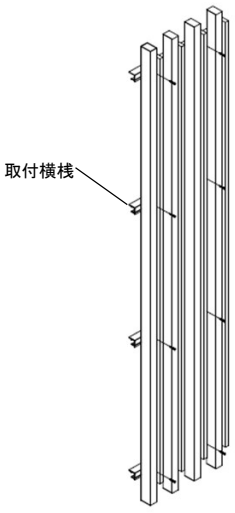
名称 ・ 略図 ・数量

LSタイプ :30x45＋15x30

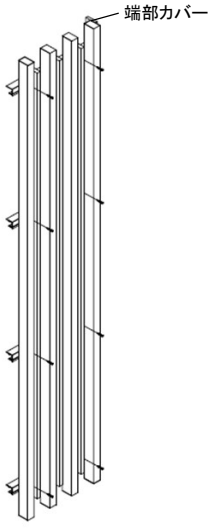
端部左



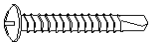
中間



端部右

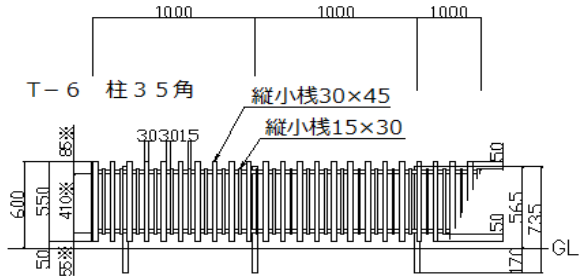


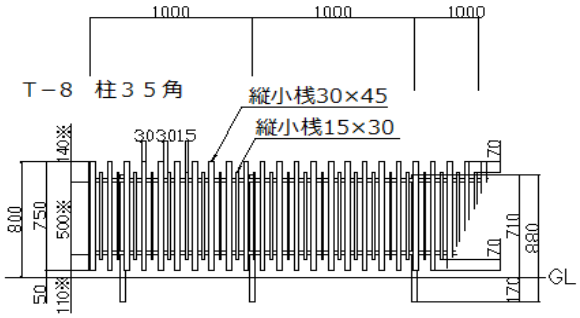
※フェンス全幅分の縦小桟は、約W400を目安にセミユニットパネル化しています。規格寸法は下記の通りになります。

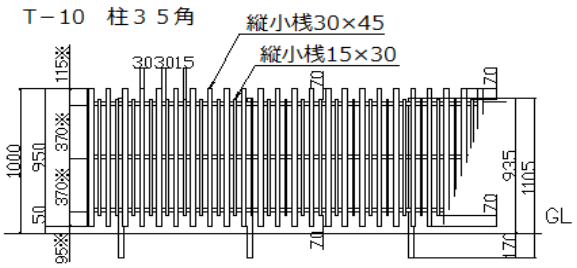
タイプ	縦小桟		標準	400端部左パネル			400中間パネル		400端部右パネル		
	断面	見付	隙間	端部カバー	縦小桟(本)	取付横桟	縦小桟(本)	取付横桟	縦小桟(本)	取付横桟	端部カバー
	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(本)	(mm)	(本)	(mm)	(本)	(mm)	(mm)
Lタイプ	30x45	30	30	10	4	390	4	420	4	375	10
Sタイプ	15x30	15		10	4		4		3		10
セミユニットパネル 固定ネジ		φ4x25ドリルネジ							セミユニットパネルの枚数 x **2本** x 横桟段数		

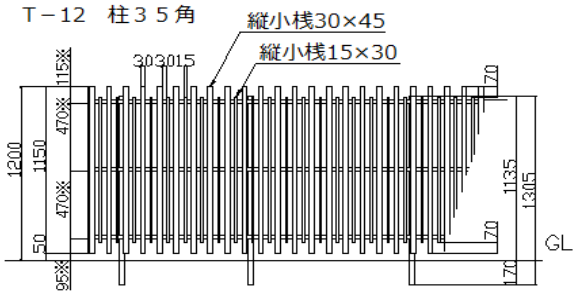
■基本寸法

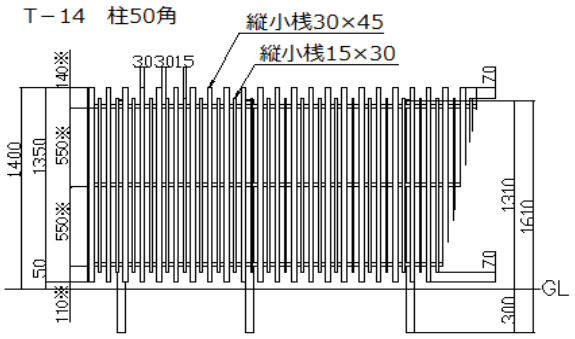
LSタイプ　：30x45+15x30

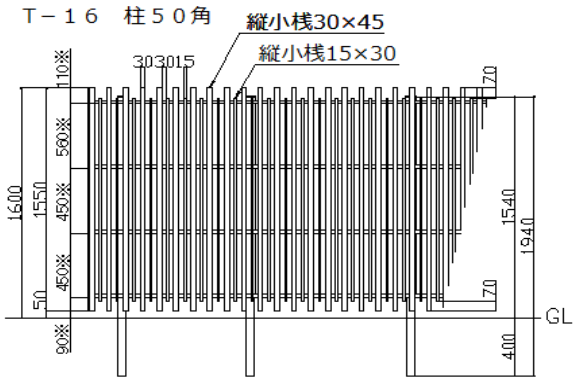


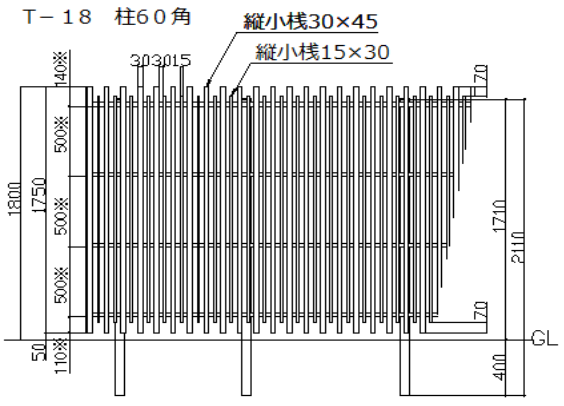


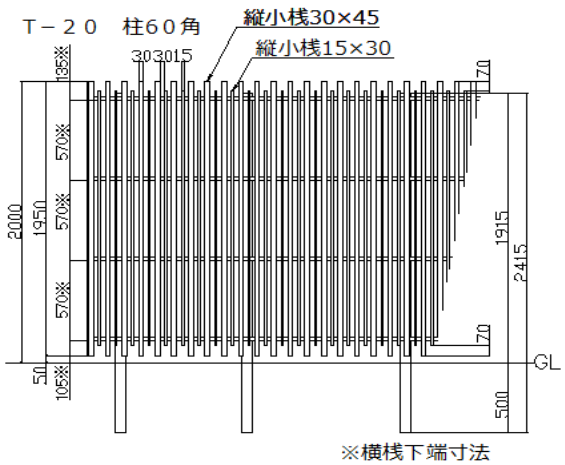












※横桟下端寸法

(※)キャップ厚み除く

柱型	ブロック上施工可否	縦小桟		柱				横桟段数
		上端高さH (GL+mm)	長さ L (mm)	長さ L(※) (mm)	高さ H(※) (GL+mm)	埋込部 (mm)	断面サイズ (mm)	(本)
T－6	可	600	550	735	565	170	35x35x2t	2
T－8	可	800	750	880	710	170	35x35x2t	2
T－10	可	1,000	950	1,105	935	170	35x35x2t	3
T－12	可	1,200	1,150	1,305	1,135	170	35x35x2t	3
T－14	－	1,400	1,350	1,610	1,310	300	50x50x1.5t	3
T－16	－	1,600	1,550	1,940	1540	400	50x50x1.5t	4
T－18	－	1,800	1,750	2,110	1710	400	60x60x2t	4
T－20	－	2,000	1,950	2,415	1915	500	60x60x2t	4

■基礎工事について

⚠ 注意

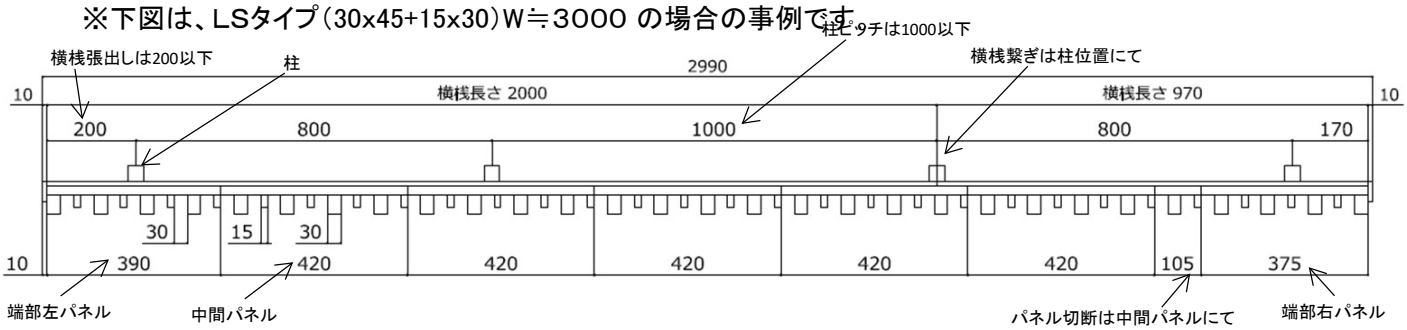
●コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系の
コンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤)などは使用しないでください。
アルミなどの金属が腐食する原因になります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●指定埋込寸法は必ず守って施工してください。
●高さH1200超の場合は、基礎石による施工は避け、独立基礎施工としてください。

1 横桟の取付

①柱の配置(柱芯～芯:1000mm以下)を確認してください。

※横桟の張出は柱外200mm以下としてください。
※横桟はL2000(一部L1000)で出荷します。端数はフェンス全幅を確認後の現場切断となります。
⇒端部では20～30mm長めにし、『5. パネルの取付け』後の誤差を確認してから正確に切断してください。

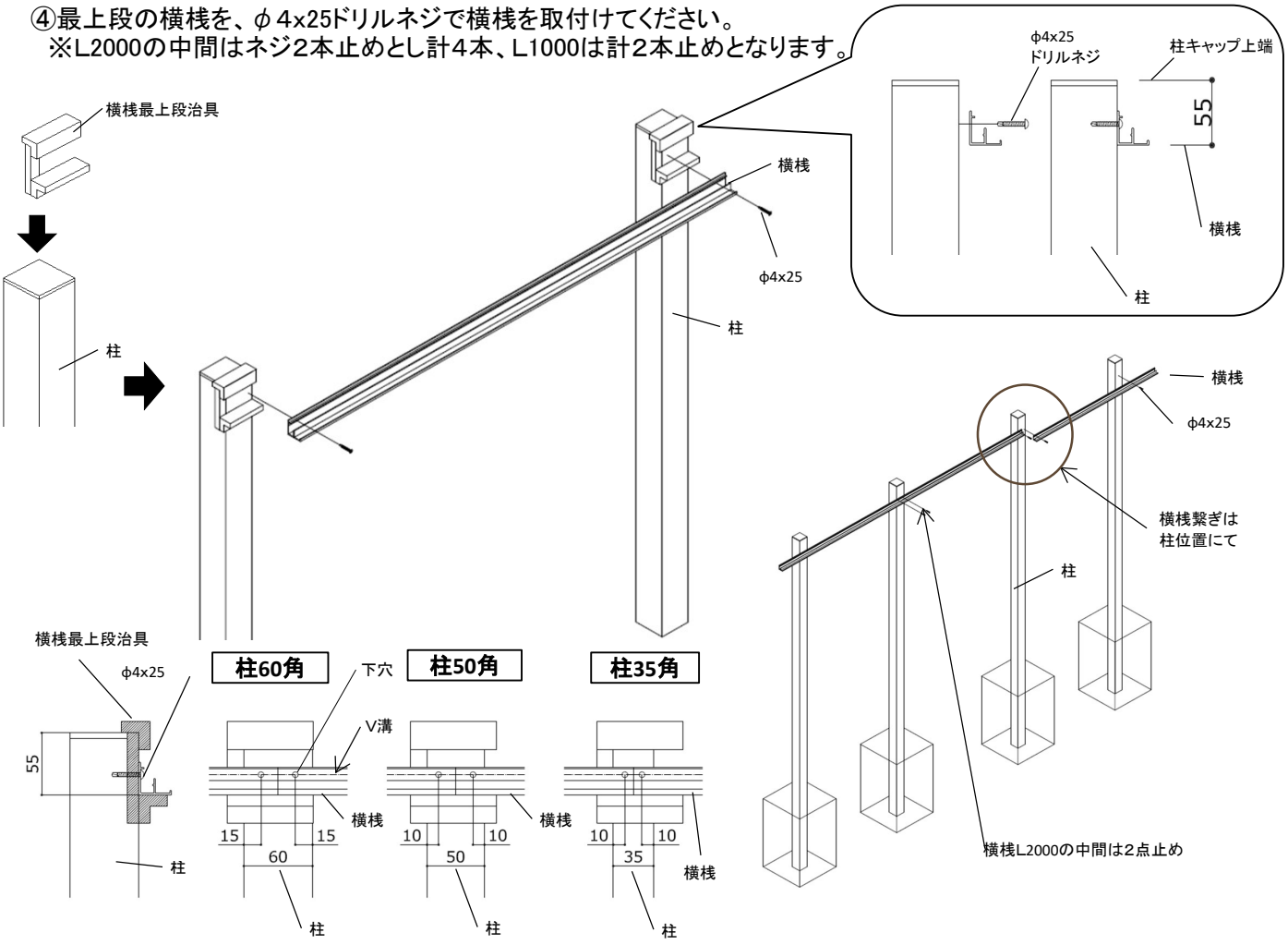
※下図は、LSタイプ(30x45+15x30)W≒3000 の場合の事例です。



②柱を仮建てし、柱頭に横桟最上段治具を仮置きします。

③横桟最上段治具に横桟を合わせ、下図のとおり横桟・柱のV溝位置に下穴(φ3.2～3.4)をあけます。
※最上段以外の横桟は、この段階では取付けないでください。

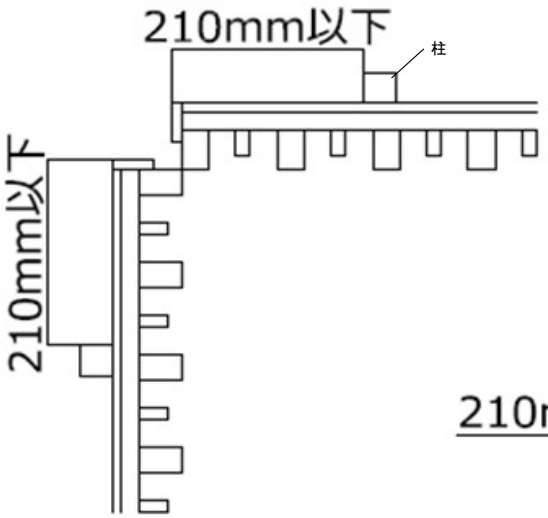
④最上段の横桟を、φ4x25ドリルネジで横桟を取付けてください。
※L2000の中間はネジ2本止めとし計4本、L1000は計2本止めとなります。

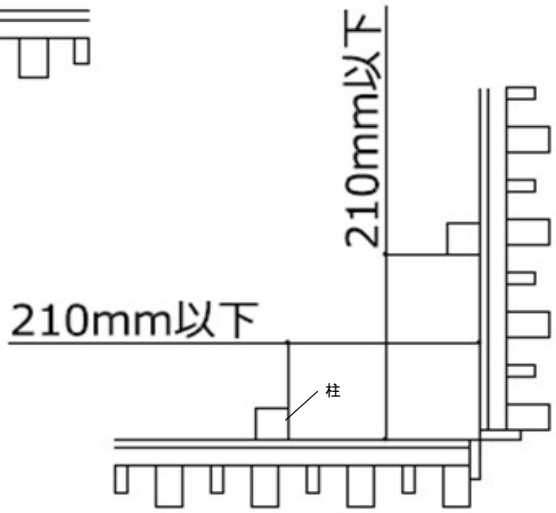


2 コーナー部の納め方について

①横桟の張出200mm+端部カバー10mm
＝210mm、柱位置をずらして設置します。

入隅コーナー

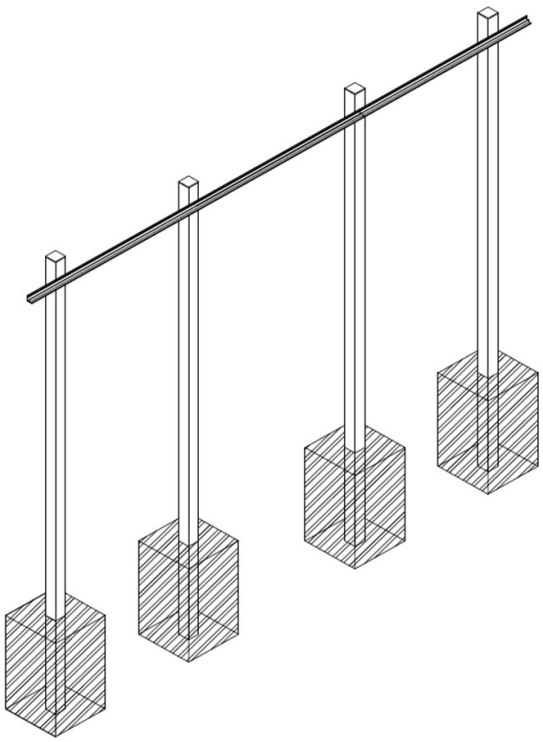




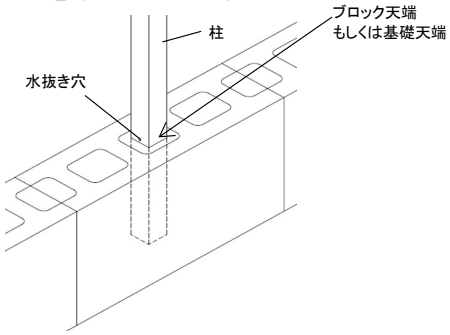
出隅コーナー

3 柱の施工、基礎コンクリートの打設

①垂直・水平を確認して、基礎コンクリートを打設します。



②柱内側のブロック天端もしくは基礎天端上に
必ず水抜き穴をあけてください。



⚠ 注意

●**必ず柱に水抜き穴**をあけ、柱穴に柱を立て
モルタルを打設してください。
**※モルタルを打設後に柱を立てると柱内部に水がたまり、
凍結破損の原因になります。**
**※ブロックまたは基礎石施工の場合、発泡体のない状態で
柱を施工すると、凍結破損の要因になります。**

●高さH1200超はブロック上の施工ができません。

●高さH1200超の場合は、基礎石による施工は避け、
独立基礎施工としてください。

⚠ 注意

●柱の埋込深さは、基本寸法図のとおりにしてください。
深さが不足すると強風による飛散・倒壊事故の要因
になる場合があります。

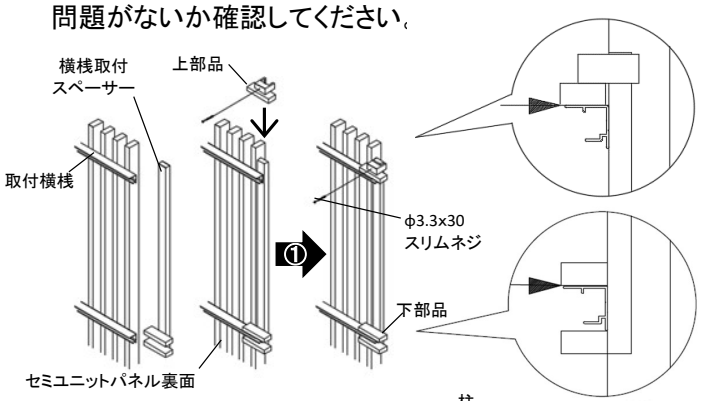
●柱は必ず垂直に施工してください。

⚠ 注意

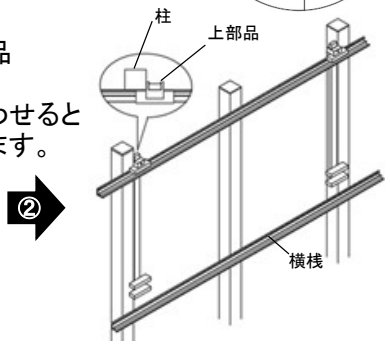
●必ず下記の取付順を守ってください。
●基礎コンクリートが完全に硬化してから、上から2段目以降の横桟、セミユニットパネルを取付けてください。
●横桟は、必ず横桟取付スペーサーを使用して取付けてください。製作誤差や温度変化を吸収した取付になります。

4 横桟の取付

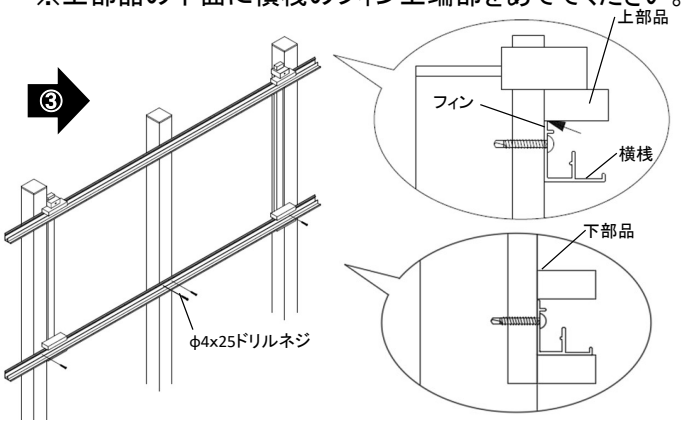
①パネル裏面の取付横桟に矢印位置で合わせ、上部品を
φ3.3x30スリムネジで横桟取付スペーサーに固定します。
※組付後、取付横桟の2段目・3段目にもはめ込み、
問題がないか確認してください。



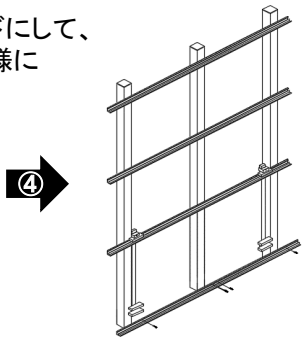
②最上段の横桟に上部品
をかけます。
※上部品を柱の角に合わせると
取付作業が容易になります。



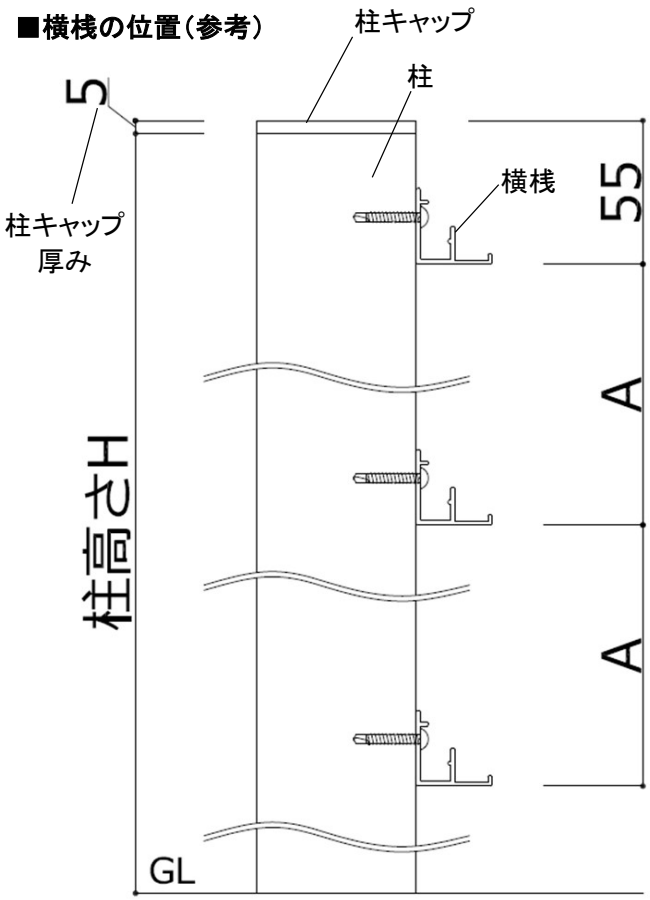
③2段目の横桟を下部品の間に差し込み、
φ4x25ドリルネジで柱に取付けます。
※上部品の下面に横桟のフィン上端部をあててください。



④取付けた横桟をガイドにして、
以降下段の横桟も同様に
取付けます。



■横桟の位置(参考)



⚠ 注意

●横桟位置は製作誤差や温度変化により変化します。
下記寸法は参考寸法としていただき、
実際のパネル本体寸法を確認ください。
●横桟の取付には横桟取付スペーサーを使用ください。

＜参考＞

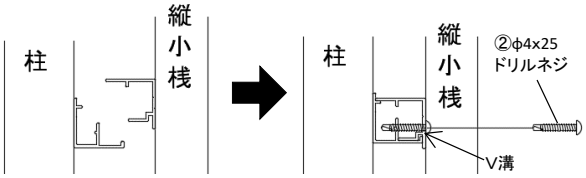
サイズ	柱高さH(GL～) ｷｬｯﾌﾟ厚み除く	A(参考値)	横桟段数
T-6	565	410	2
T-8	710	500	2
T-10	935	370	3
T-12	1135	470	3
T-14	1310	550	3
T-16	1540	450	4
T-18	1710	500	4
T-20	1915	570	4

5 パネルの取付け

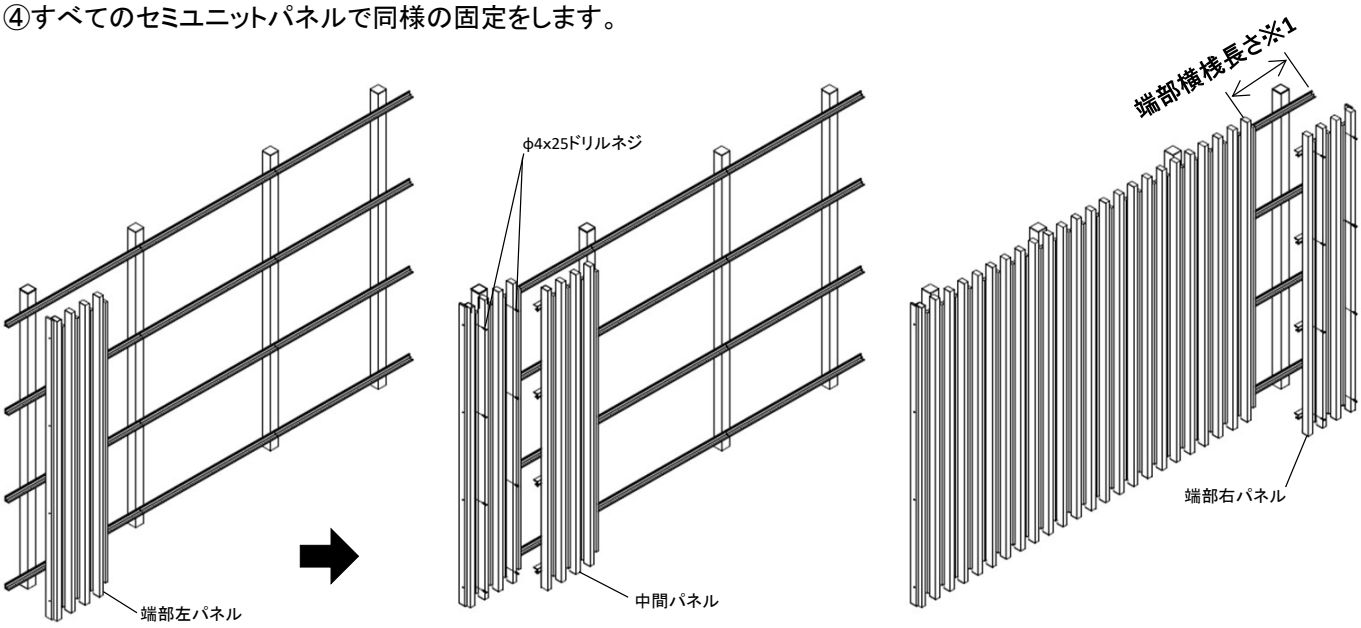
①左端部のセミユニットパネルから順に取付けていきます。

②納まり具合を確認し、**左右一番端の縦小桟と縦小桟の隙間**のV溝位置でφ4x25ドリルネジ**2本**で固定します。
※横桟・柱に下穴（φ3.2～3.4）をあけてから取付けてください。
※高さ方向すべての段の横桟に、**1段当りネジ2本づつ**固定してください。

③右端部のパネルを取り付ける前に『端部横桟長さ※1』を確認し、必要に応じて切断調整してください。
※セミユニットパネルを切断する場合は中間パネルを切断してください。
※端部パネルを切断する場合は、端部カバーを外して切断し、切断後に端部カバーを取付してください。



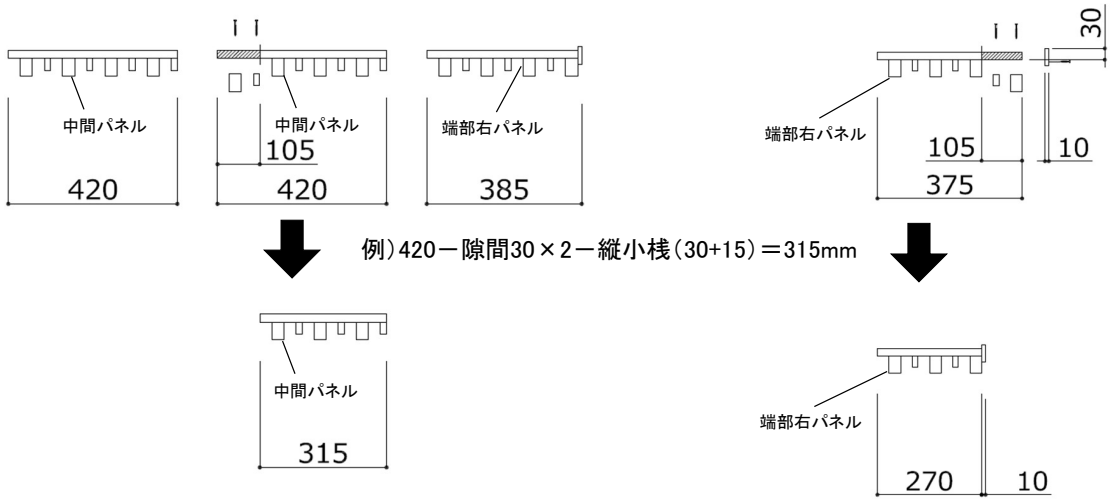
④すべてのセミユニットパネルで同様の固定をします。



■セミユニットパネルの現場幅切詰めについて

中間パネルを切断する場合（おすすめ）
中間パネルの左側の縦小桟を取り外し
取付横桟を切断します。
※切詰単位＝縦小桟見付＋隙間です。

端部右パネルを切断する場合
端部カバーを取り外した後、
縦小桟を取り外し取付横桟を切断します。
※切詰単位＝縦小桟見付＋隙間です。
端部カバーを取り付けします。



切詰単位表(規格寸法)

	縦小桟見付幅	隙間	切詰単位
Lタイプ	30	30	105
Sタイプ	15	30	

EXIS 株式会社エクシス